Ruby - Bug #13905

files in gemspec

09/15/2017 03:56 PM - znz (Kazuhiro NISHIYAMA)

Status:	Rejected		
Priority:	Normal		
Assignee:	hsbt (Hiroshi SHIBATA)		
Target version:			
ruby -v:		**Backport:**	2.2: UNKNOWN, 2.3: UNKNOWN, 2.4: UNKNOWN

Description

ext/zlib/zlib.gemspecのfilesをみるとext/zlib/extconf.rbのようなtop_srcdirからの相対パスらしき指定とgemspecからの相対パスらしき(upstreamでのパス?) zlib.gemspecのようなものが混在しているように見えます。

top_srcdirからの相対パスが正しいのならext/zlibがついていないファイルを指しているのはおかしいし、gemspecファイルからの相対パスならext/zlibがついているのがおかしいと思いました。

他のgemspecファイルは確認していないのですが、lib/scanf.gemspecをみるとlib/scanf.rbだけなので、top_srcdirからの相対パスが正しくて、そもそもsyncされていないファイルが入っていたり、gemspecファイルが入っていること自体がおかしい気がします。

History

#1 - 09/23/2017 08:33 AM - hsbt (Hiroshi SHIBATA)

- Status changed from Open to Assigned

- Assignee set to hsbt (Hiroshi SHIBATA)

default gemsのGem::Specification#filesは記載されていても、実際には処理されないので、便宜上upstreamまたはgemとしてリリースされているファイルを記載するようにしています。

こうした方が良い、という提案はありますか?

#2 - 09/26/2017 09:00 AM - hsbt (Hiroshi SHIBATA)

- Status changed from Assigned to Feedback

#3 - 03/11/2019 07:47 AM - hsbt (Hiroshi SHIBATA)

- Status changed from Feedback to Rejected

Default gemsのGem::Specification#filesはhttps://github.com/ruby/ruby/blob/trunk/tool/rbinstall.rb#L826の箇所でmake install時に改めてファイルのリストを入れるようにしているので、そもそものissueとしては意図した通りということでrejectしておきます。Default gemsのfilesについてのドキュメンテーションとして残しておくのはやった方が良さそう、と思います。